

# 協 議 会 議 事 録

1 会 議 名	平成30年度第1回太宰府市地域公共交通活性化協議会
2 開催日時	平成30年7月12日（木） 14:00～15:45
3 開催場所	太宰府市役所3階庁議室
4 出席者名	寺町委員（会長）、清水委員（副会長）、富永委員、川津委員、岡本委員、中井委員、松尾委員、上田委員、野村委員、山口委員、下園委員、辻委員、鈴木委員、堺委員
5 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太宰府都市計画の取組について</li> <li>2. 地域公共交通活性化協議会について             <ol style="list-style-type: none"> <li>①協議会の目的</li> <li>②協議会の役割</li> <li>③都市計画の取組</li> <li>④渋滞対策の取組</li> </ol> </li> <li>3. 地域公共交通網形成計画の策定に向けて</li> <li>4. 太宰府市の主な公共交通網の概要</li> <li>5. 太宰府市の交通課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①市全体の課題</li> <li>②主要な拠点の課題</li> </ol> </li> <li>6. 今後の予定について</li> </ol>

## 6 開催状況



## 7 審議内容

事務局	(開会挨拶)
事務局	(市長より委嘱状交付)
市長	(挨拶) 圧倒的な知名度をもつ本市は、その強みを活かしながら広い視野で近隣自治体とも連携を密にし、中核都市として発展していくことが周囲にも良い影響を与える、そうした役割を果たしていかなければならないと考えている。具体策の一つが交通大動脈計画の立案である。観光客や通過交通の増加等により様々な課題が発生している。将来的に、さらなる人の往来と交通渋滞の解消の両立の可能性を追求するために、新たな交通網の可能性の調査・研究等を行い、中長期的な交通大動脈計画の策定の準備を始めていきたい。その前段としてまずは本計画の協議、計画策定にご協力いただきたいので、よろしく申し上げます。
全員	(各自自己紹介)
事務局	(会長選任) 本協議会の会長を選任したい。事務局案として、寺町委員を推薦したいと思うが、いかがでしょうか。
全員	異議なし
事務局	寺町委員、よろしいでしょうか。
寺町委員	はい。
事務局	併せて、副会長についても、事務局案で進めさせていただいて良いか。
全員	異議なし
事務局	では、副会長は清水委員にお願いしたい。
清水委員	はい。
寺町会長	(会長席へ移動、挨拶) 太宰府市には縁があり、地域の実情をある程度知っております。皆様よろしく願います。

清水副会長	(副会長席へ移動、挨拶) 私も太宰府市には縁があり、九州国立博物館の関係で、特に阿修羅展の際には大渋滞が発生しました。色々な方策で解決の方向を展開できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。
事務局	(傍聴人2名入室)
事務局	(資料確認)
寺町会長	それでは早速、議事に入ることとして、事務局から資料の内容について説明をお願いしたい。
事務局	(資料説明：次第0.～1.について)
会長	資料 P14 のフローを見ると、今年度のこの協議会のミッションは形成計画を立案するというので、大枠を決めるイメージかと思うが、これは最も大事なことというわけではなくて、この次の地域公共交通網再編事業、実施計画に入っていくと、地域で具体的にどうするかという話になっていく。この協議会は前段階の全体計画を議論する場となるので、重要な役割を担うものということで、進めていきたい。
委員	網形成計画を策定するということだが、その後の再編実施計画まで策定するという認識で良いのか。
会長	以前別の自治体で携わった際には、網計画までつくって、再編計画は諸事情によりつくらなかった。地域の実情に応じて決めてもらえれば良いと思う。
事務局	今のところは未定である。まずは網形成計画をつくり、その後協議を重ねたい。
事務局	(資料説明：次第2.～4.について)
委員	まほろば号は路線毎に運賃を決定しているということだが、何をもとに決めているのか。
事務局	幹線については一律 100 円としている。また、東観世線についてはスーパーが運行しており、そのお客様が対象となっていて、スーパーへの送迎のついでに市役所に寄っていただいているもので、無料となっている。また、市で路線を拡張しているものの、バスが入らない狭あい道路の地域からなんとか地域と市と一緒に交通網がつかれないかということで、地域線2路線を設定している。幹線とはできた経緯が違うため、地域との話し合いの中で、利用者がある程度負担するという形でそれぞれ料金を設定している。

委員	料金の徴収は、取れるところから取った方がコミュニティバスの運営が成り立つという思いもあるが、公共という意味でいくと異なる料金設定はどうなのかなと感じる。良い方法があれば良いのだが。
委員	無料の東観世線はどこが運行しているのか。
事務局	スーパーによる運行である。
委員	市のコミュニティバスとして現状そうなっているということは、かつて運行させる際に相談があったり、位置付けを整理されていたりするのかもしれないが、公共交通網の中に入れることをしっかり検討された方が良いと思う。
会長	全体を見ても、先程挙げたように取れるところから取った方が良いという視点もあるが、同じような距離のサービスで料金が違うのは違和感もある。法整備も含め、整理する余地があれば見直した方が良い気もする。ある程度適切な料金体系で、持続可能な仕組みを目指していかないといけない。個人的には、誰かが無理をするスキームは長続きしないと考える。一方で、大きい車両で大人数、小さい車両で少人数を運ぶのが同じ料金か？という印象もあるので、この協議会等、色々な機会を利用して、一度しっかり見直すのも良いかもしれない。
委員	地域公共交通網形成計画は、認定という形ではなく、策定したものを国土交通省に送付していただき、受け取った段階で、公の計画として共有される。そういう意味ではどのような形で作られても良いが、相当根本的なところからやり直さないと、今の状態では公共交通網の体をなしていないのでは。また、策定にあたって今一番問題になるのは、乗務員さんが決定的に不足していること。計画された案が、3年後にはもう成り立たなくなる、維持できなくなるかもしれない。他の地域ではそうなりかけているところもある。あれもこれもやっていると、やっぱり無理だったとなりがねない。乗務員さんの確保、そのあたりも踏まえて検討しないといけない。
会長	乗務員不足を補う形で自動運転が普及すると良いなという考えがあったが、それは難しい。技術面よりも、コスト面でかなりのお金がかかる。長らく問題になっているが、自動運転が乗務員不足の問題解決にすぐ寄与することはなく、どこにおいても乗務員不足というのは致命傷になる心配がある。
委員	自動運転に関して、個人的に経験があるので3種類ご紹介しておく、大分市でGPSを使つての自動運転、優先誘導の自動運転、高速道路上で実証実験を行っているがトラックの自動運転。全て実用化の段階まできているようだが、一般車が入ってくることによって、不測の事態に対応できない。プロばかりの環境であれば実現可能かもしれないが、予測不可能な行動をする自家用車が入るので、自動運転は実現できないと

	<p>いうレベルではないかと思う。</p>
会長	<p>良い計画をつくるために、色々な分野の専門家である皆様から意見をいただいきたい。</p>
委員	<p>今の実態を踏まえて、太宰府市の将来像というものをもっておくべきと思う。行政だけでなく事業者さんと連携し、また、優先順位をつけてやっていかないといけない。天満宮に人を増やしたければ、その対策を立てる必要があるし、人を減らしたければ、その対策を立てる必要がある。どういうことをやりたいのかを明確にもっておくことが重要である。その上で、県や国としては必要な支援をしたい。</p>
委員	<p>アンケートの予定があるようだが、取り方を工夫してほしい。コミュニティバスを本当に利用しようとする方、免許を持たない方、高齢者、小学生等、自家用車を利用していない方に直接答えてもらいたい。本当の需要がわかると思う。極端に言えば個別訪問というやり方もある。費用の問題もあるしどのようなものにすれば良いかは今わからないが、細かく意見を取って、計画を練ってほしい。観光に関してはまた別の話になると思う。</p>
会長	<p>他の地域では、要望があったということでバスを走らせても、実際には利用者がいなかったという事例もあった。アンケートの方法に問題があったのかもしれない。「あったら使いますか」と質問すると「使う」と答えると思う。ただ、一日何便、この時間帯に運行、料金はいくら、と具体的にシチュエーションを示すと、実際に使うか使わないかという判断をするのだと思う。費用には限界があるので難しいと思うが、正しく仕組みを示し、正しいニーズを得ることが重要。</p>
事務局	<p>費用の面の話もあるが、量より質という考え方になるのか？</p>
会長	<p>まず、立地適正化計画の拠点がどこなのか、その中のネットワークをどう結ぶべきかが最初にあるべき論だと思う。そこでネットワークだけでなく、枝葉の部分に対しても細かい手当てをしないとイケなくて、そのスキームをつくるというのが、網計画の大前提と思う。個別の話はその次の段階というのが個人的な認識である。ニーズを拾うにも、細かくやりすぎると次の段階の話になってしまうので、調査の内容は事務局でもんでもらうこととしたい。</p>
事務局	<p>(資料説明：次第5．スケジュールについて)</p>
会長	<p>スケジュールについては、当面は示された内容で動いていくということ。変更があれば事務局から調整があると思うので、その都度対応ということで、よろしくお願ひしたい。</p> <p>私の経験上、行政の会議に出席すると、人口減少や流入より流出が多いことによっ</p>

	<p>て、これから〇〇が減る、悪くなる、どうしようといったネガティブな話題が多い。太宰府市のこの協議会のように、観光客が増えて困っている、交通量が増えて困っているといった話題は久しぶりに聞いたように思う。色々な問題を抱えているとは思いますが、これをポジティブな悩みという風に前向きにとらえて、より良い計画をつくっていただければと思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今後しっかり検討していきたい。</p>
	<p>以上で第1回協議会を閉会とする。</p>
事務局	<p>(閉会挨拶)</p>